

ここが聞きたい！

一般質問

一般質問とは…

市の様々な課題等について、議員が市長や理事者に考えを聞くものです。議員は政策提言も含めて質問することができます、内容は自由です。



ページ	質問者 ・ 質問内容	ページ	質問者 ・ 質問内容
p.9	はやしした とよひこ 議員 鯖江市職員の在り方について	p.11	かえりやま あきお 議員 日野川堤防漏水への早期対策実施を
	えはた かずたか 議員 ごみの減量化と取組について ほか		おくむら よしのり 議員 在宅医療・介護連携推進について
p.10	ふくはら としひろ 議員 少子化対策に伴う子育て環境について	p.12	きむら あいこ 議員 中学校の学校運営等について ほか
	だいもん よしかず 議員 鯖江つづじマラソンについて		やまもと としお 議員 市の産業観光の推進について
	えんどう たかし 議員 今年の熱中症対策について		すがはら よしのぶ 議員 市は地方自治の本旨に基づいた市政運営へ立ち戻るとき
p.11	そら よしひで 議員 動物愛護について	p.13	ひらおか ただあき 議員 市東部地区への企業誘致について ほか



志清同友会
はやしした
林下 豊彦 議員

鯖江市職員の在り方について

問 昨年から起こっている市職員の不祥事について、防止策はどうするのか。

答 原因は事案により異なるが、業務に対する理解不足や不注意等の積み重ねにより発生したと認識しており、業務の基本的な流れや知識をマニュアル化し、個人任せにせず、部署内での情報共有を徹底することで防止できたと考える。市の事務事業評価制度を活用し、業務手順の標準化・マニュアル化を進め、管理監督者の理解や適正な指導により、業務管理の円滑化、所属職員との情報共有度を高め、防止につなげる。

問 市が目指す風通しのよい職場環境とは、どのような目的で、何をやるものなのか。

答市長 一人一人の職員が何のためにその仕事をするのか、組織の目的は何なのかということ、個々の職員が継続的に明確に捉えることで良質な個性が発揮され、生き生きとした職場につながると考える。息の長い取組になるが、普段から職員の考えを吸い上げ、周りの職員がバックアップやフォローができる体制や目標達成に向けて共感できるような職場づくりを進めることが近道になると考える。

意見 退職や休職する職員が多いという現状もある。市民が喜ぶことを提案できる環境や、失敗しても前向きにトライすることを許容できる職場環境や信頼関係が求められる。



志清同友会
えはた
江端 一高 議員

ごみの減量化と取組について

問 さらにごみの削減を目指すために、今後はどこに焦点を絞って取り組むのか。

答 燃やすごみの組成調査によると、生ごみの重量ベースの割合は30%を超えているため、生ごみ削減に力を入れていきたい。

昨年9月に、市内小学校1校にトラッシュという地中に埋める生ごみ処理容器を設置し、給食生ごみの削減につながっていることから、効果を検証し、家庭やほかの学校、レストランなどにトラッシュの普及を促進していきたい。また、各家庭には、使い切り、食べ切り、水切りの「生ごみ3きり運動」への協力を呼びかけ、子どもたちへの啓発活動や町内での啓発などに取り組む。

放課後児童クラブの現状と今後の在り方について

問 需要が増加していると考えますが、場所の拡張や開所時間の延長など、今後の見通しについての考えは。

答 子どもの全体数は減少しているが、利用申込みは年々増加しており、年や地域によりばらつきがあるため、見通しが立てにくい状況である。定員を超える受入れ体制確保のため、吉川地区や中河地区の小学校の空きスペースを活用した児童クラブを設置する等の環境整備を行っている。今後も出生数の推移や民間児童クラブの受入れ体制などを考慮しながら、子どもの安全・安心な居場所の環境整備に努めていく。